

## 開催報告

2015年10月24日（土）

事務局

本日（2015年10月24日）、熊本大学にて、第6回 CIM チャンピオン養成講座を開催しました。朝夕はめっきり冷え込んでくる季節になってきた中、26名の参加がありました。誠にありがとうございました。

本日の CIM 講座は「**InfraWorks** の利用事例」について小林先生にご講演いただきました。**InfraWorks** は地形が容易に取り込め、初期段階の検討での導入に非常に有効なソフトウェアです。前回までの演習でも取り扱った、**Civil3D** やスケッチアップで作成されたモデルを取り込むこともできます。しかし、モデルの作成方法によってはデータが重くなってしまったり、毎年更新されるバージョンをモデルに対応させることで不具合がでてしまうことがあるため、注意が必要です。

CIM 講座では、小林研究室で取り組まれている事例で作成された **InfraWorks** のモデルをいくつか見せて頂きました。地形モデルの種類にも 10mメッシュや LP データなどがあり、検討における重要箇所によって使い分けることでデータの軽減化を図っている事例や、図面を取り込んで地域と計画の関係を確認している事例、スケッチアップで作成されたモデルを取り込んでいる事例、時刻変化の機能を活用して時間帯別の利用方法の検討や構造物の影を確認している事例、災害直後の航空写真を取り込むことで被災現場へのルート確認をした事例などたくさんの事例を見せて頂きました。

また、**Recap360** というソフトウェアもご紹介して頂きました。斜め写真だけから 3次元モデルを作成するソフトウェアです。CIM 講座では、阿蘇中岳の噴火直後に撮影された斜め写真を 3次元モデル化した事例を見せて頂きました。精度についてはこれから確認が必要ですが、30分程で作成することができるということでした。撮影する写真は対象の構造物以外が映り込むと全て認識されてしまうので、対象構造物以外の背景の調整は必要です。みなさんもぜひ自社の写真を撮影して **Recap360** を活用し、3次元モデルを作成してみてください。

本日から CIM 講座でもお話しがあった **InfraWorks** の演習です。基盤地図情報をダウンロードし、**Civil3D** を活用して地形データの作成するところから、**InfraWorks** 内でのモデルの作成・編集など様々な機能について演習がありました。サインインや **Civil3D** でのツールのインストールなどで戸惑いが見られましたが、無事に演習が進められていました。



CIM 演習 第 1 部 (InfraWorks の演習)

演習第 2 部では、提案ツールの説明や、設計道路や橋梁、施工ヤードの作成方法、景観オブジェクトの配置や編集、日照と上空の設定、視覚効果の説明など、第一部に続き様々なツールを演習しました。操作自体はスムーズに進められ、意見交換もみられました。



CIM 演習 第 2 部 (みなさん、画面に見入っています)

次回は 11 月 21 日 (土) です。次回も Infracore360 を演習します。最近では CIM-LINK でとても活発に意見交換が行われております。今後も、ぜひよろしくお願い致します。